ADVANCE 北海道医療大学広報誌
2017 JULY
No.167

6月17・18日 大学祭（九十九祭）の様子。

公認心理師の国家資格化にあたって

心理科学部 臨床心理学科長　冨家 直明

公認心理師という国家資格が誕生します。公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育等の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理検査、カウンセリングや心理療法、心の健康に関する心理教育や情報の提供等を業として行うプロフェッショナルのことです。これまではカウンセラーになりたいと思っても、臨床心理士という民間資格で活動するしかなく、その職域は限られていました。しかし、いよいよ国家資格が誕生し、心の支援を必要とする社会の要請に応えて、思う存分に活躍できるチャンスが巡ってきたのです。平成30年までに第1回国家試験が実施される予定です。

そして、本学の臨床心理学科はこの公認心理師の養成に最適な教育カリキュラムをすでに備えつつあります。今年は学科の誕生からちょうど15年が経過しました。15年の歴史は長いようで短く、短いようで長い時間でした。カウンセラーや心理テスターの潜在的な需要は学科開設当時からすでにあったものの、法的な整備や保険点数の見直しなどが伴わず、本格的な普及には到底及びませんでした。しかし、この間、治療科学としての臨床心理学の進歩は著しく、精神医療はもとより、生活習慣病、がん、遺伝医療、終末期ケア、臓器移植、難病等の治療におけるエビデンスは日増しに増大し、臨床心理学の役割は医療人養成を使命とする本学にとってなくてはならないものです。医療現場のみならず学校教育の現場においても、教員の負担軽減、チーム学校という文部科学省の政策上の観点から、スクールカウンセラーの全校配置が目標に掲げられるようになりました。次なる課題は、我々大学が確かな人材供給をお約束できるかどうかです。学際的融合によって急速に進歩し続ける臨床心理学の知見や技術を確実に身につけた質の高い人材を社会に輩出するためには、私たちがいかにしっかりした教育体制を組み立てられるかにかかっています。数年前、試行錯誤の後に、文部科学省GPである大学院教育改革プログラムに、「科学者実践家モデルに基づく臨床心理学教育」という題目で私たちの教育課程が採択されたことは、大いに勇気づけられたできごとでありました。また、多職種連携教育を実現するために、平成27年度より始まった当別キャンパスへの段階的移転もようやく第3学年までが揃いつつあるなど、順調な成長を続けております。心の問題にかかわる職能人を育成するノウハウや環境は、揃いつつあるといえるでしょう。

とはいえ、公認心理師という国家資格はまだできたばかりで、本格的な職域の確保はこれからです。将来は、心の支援を必要とするあらゆる社会において歓迎されることになるでしょうが、当面の間は「開拓精神」が必要だと思います。病院、福祉、教育、司法、産業のあらゆる方向に、卒業生の進路は開かれています。しかし、その道は舗装されていません。新雪の道を踏みしめるようにこの黎明期を進んでいきたいと思います。本学の皆様と大勢の卒業生、保護者の皆様による温かいご支援を賜りたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

公認心理師の国家資格化にあたって ―― 1
教員役職者·新任教員·昇任教員等紹介 ―― 2
2017年度入試結果報告 ―― 3
薬学生セミナー「学内就職相談会」を開催
マヒドン大学（タイ）短期研修を実施
国家試験結果報告 ―― 4
リハビリテーション科学部
近藤里美教授が「石崎賞」を受賞
リハビリテーション科学部
大内みふか助教が「日本理学療法士学会
学術誌掲載論文優秀賞」を受賞
就職状況結果報告 ―― 5
北海道教育委員会と相互連携協定を締結
2018年度 入試概要 ―― 6
私の学生時代 ―― 8
OB·OG訪問［理学療法学科·作業療法学科］ ―― 9
学校法人東日本学園 ―― 10
○2016年度決算
○2017年度予算
新入生アンケート結果報告 ―― 12
ご支援をお考えの皆様へ
EDITOR'S NOTE